



## 定例会日程

6月2日 本会議（提案説明）  
9日 本会議（一般質問）  
12日 建設産業委員会  
13日 教育福祉委員会  
16日 総務環境委員会  
17日 議会運営委員会  
本会議

守屋多々志作  
百人一首 持統天皇

## 大垣市議会役員名簿

5月8日に開会された第2回臨時会において、次のとおり決定しました。

## 議会三役

議長	長谷川 つよし
副議長	近沢 正
監査委員	不破光司

## 常任委員会

総務環境委員会（8名）			
委員長	空 英明	副委員長	からさわ理恵
委員	小原一喜	委員	梅崎げんいち
委員	中田としや	委員	長谷川つよし
委員	田中孝典	委員	川上孝浩
教育福祉委員会（7名）			
委員長	日比野芳幸	副委員長	粥川加奈子
委員	本田ゆみこ	委員	安藤よしひろ
委員	小田環	委員	不破光司
委員	近沢正		
建設産業委員会（7名）			
委員長	種田昌克	副委員長	宮脇ちえ
委員	はんざわ多美	委員	関谷和彦
委員	岩井哲二	委員	石川まさと
委員	林新太郎		
議会運営委員会（7名）			
委員長	関谷和彦	副委員長	種田昌克
委員	本田ゆみこ	委員	梅崎げんいち
委員	不破光司	委員	空英明
委員	日比野芳幸		
特別委員会			
市民病院に関する委員会（6名）			
委員長	田中孝典	副委員長	梅崎げんいち
委員	本田ゆみこ	委員	近沢正
委員	空英明	委員	岩井哲二
大垣公園等再整備に関する委員会（7名）			
委員長	石川まさと	副委員長	安藤よしひろ
委員	小田環	委員	はんざわ多美
委員	関谷和彦	委員	長谷川つよし
委員	川上孝浩		

## 第2回市議会定例会

第2回市議会定例会を6月2日から17日までの日程で開催しました。

初日に、大垣市固定資産評価審査委員会委員の選任について先議した後、市長から令和7年度一般会計補正予算など18議案について提案説明を受けました。

9日には、12名の議員が、選挙・教育・福祉・まちづくり等に関する市政全般にわたる一般質問を行い（2枚面に掲載）、条例1議案を追加上程し、12日から16日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

17日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案13議案を可決しました。また、議員提出議案として、「米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書」を可決し、閉会しました。

## 可決された主な議案

補正予算  
一般会計

- ◇企業版ふるさと納税を活用し、産官学連携プロジェクト研究事業として「ゼロカーボンシティおおがき」の実現に向けた効果的な事業構想の創出を市内企業及び事業構想大学院大学と共同で研究するため、研究費用として2310万円を計上。
- ◇総務省の地域活性化起業人制度を活用し、女性活躍推進の啓発や、移住定住に関する情報発信など市のプロモーション活動に係る負担金等580万円を計上。
- ◇一般財団法人自治総合センターの助成事業の採択に伴い、多良地区まちづくり協議会が実施する天体望遠鏡購入に係るコミュニティ活動事業補助金170万円を計上。
- ◇南こども園建設事業について、令和6年度中に事業者の選定に至らなかつたため改めて10億5000万円の債務負担行為を設定。
- ◇農林水産省の交付金対象事業の採択に伴い、シャワールームやトイレなどを備える「コンテナハウスをかみいしづ緑の村公園」に設置するため3000万円を計上。
- ◇小中学校で使用している校務支援システムの更新費用として860万円を計上。

## 北部水源地改良事業が完了



応急給水栓から給水車へ補給する様子

北部水源地は給水開始から50年が経過し、施設の老朽化と耐震性向上のため、令和元年度から全面改良工事を実施しました。24時間監視システムを備える管理棟などの耐震補強工事や、断水に備え一時に水を貯める配水池を増設し、貯水能力が2倍に向上了しました。また、給水できなくなった場合にも円滑な給水活動が行えるよう応急給水栓を増設し、3台同時に給水車上部から給水車に補給できます。

- ◇大垣市附属機関設置条例及び大垣市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- ◇請負契約の締結について
- ◇米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書

## 条例等

## 財産の取得について

小中学校のICT機器を活用した学習環境を整備するため、タブレット端末等一式を購入するもの。

## 意見書

（文面は4面に掲載）

般質問

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを各議員が市に対して質問しました。その内容の一部を紹介します。

選挙公報について

郵送、市ホームページ掲載などさまざまな手段を講じている。

投票所入場券のQRコードから市ホームページの選挙公報へつながる仕組みは選挙公報を早く手軽に閲覧でき、幅広い周知が可能となることから、専用のQRコードの記載に取り組む。

今後とも、市政選挙における各候補者の情報の提供や選挙の情報発信を充実させ、選挙への関心と投票率向上に取り組んでいく。

今後は、全職員への周知徹底と設備購入時の受信機能の必要性を十分検討し、再発防止に努めていく。  
なお、顧問弁護士との契約は個別事案の相談であり予防的見地からの指摘は想定していないため今後の研究課題とする。

路線の変更やバス停の新設・移設など利便性の向上を図っていく。ラストワンマイル対策については、バス停等から自宅または目的地等をつなぐ移動手段としてシェアサイクルやデマンド型交通、公共ライドシェアなど地域や利用者の状況に応じて検討する。

**新田屋内運動場について**

**質問**.. 大垣ミナモの使用時以外に一般開放されるが、その活用と避難所の機能について伺う。また、施設の愛称の選定方法を伺う。

**種田 昌克**





愛称『ミナモスマイルドーム』

とを前提に、認知症を自分事として理解し、住み慣れた地域で仲間とともに希望を持つて自分らしく暮らすことができるよう、当事者の意見・要望を起点に実効性のある施策を関係機関と連携して展開していく。

フェでの参加者同士の交流、認知症サポーター養成講座の開催、9月の認知症月間における研修会やパネル展を通じ、認知症への理解を深める普及・啓発に努めている。新たな取り組みとして、軽度の認知症の方々が集まり日々の困りごとなどを意見交換する本人ミニティングを開催している。誰もが認知症になり得る、

**質問**…選挙に関する情報の提供や投票率の向上に向け  
て、投票所入場券に選挙公報へ直接つながる専用QRコードを記載してはどうか。  
**答弁**…市では、昨年6月に条例を制定し、今年4月の大垣市長選挙から選挙公報

不破

回  
光

大垣市でNHK  
約が未契約で  
た件について

## た件について

受信契  
のつ

田環

**質問**…未契約の概要、対策等を問う。類似事案の再発防止のため専門家から判例等につきレクチャーを受け

**質問** ..高齢者おでかけバス事業は窓口での後払いとせず、バス利用時に助成しては。また、※ラストワンマイ

ついての本市の見解と、その醸成に向けた具体的な取り組みについて伺う。

ジビックプライド  
の醸成について

**答弁**…新田屋内運動場は、人工芝の屋内競技場と会議室、トイレ等を備えた県内初の多目的公共施設で、公

認知症になつても過ごし  
やすいまちづくりについて

※ラストワンマイル…最寄り駅やバス停と自宅あるいは目的地の間の短距離や特定の敷地内、区域内等比較的狭い範囲内の移動を指す。ラストマイル、ファーストワンマイルともいう。  
※ミビックプライド…地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、そして地域社会に貢献する意識を指す言葉



研修に取り組む新人看護師

**大垣市民病院の看護師人材について**

宮脇 ちえ



**質問** ①離職の現状と理由  
②人材確保の取り組みと今後の方針③プラチナナースの活躍促進について伺う。

**答弁** ①市民病院の看護師離職率は、全国平均を下回る8・7%となっている。離職の理由は主に結婚や転職であり、離職防止のため看護師住宅や院内託児所の整備、個々の働き方に合わせた勤務シフトの選択制の導入等、働きやすい環境づくりに努めている。

人材確保の取り組みについては、インターネットシップの開催や合同就職説明会への出展、奨学金制度による経済的支援や、看護大学との連携強化に取り組み、採用試験の早期実施や年齢制限等の見直しも行っている。プラチナナースの活躍促進については、医療コンシェルジュとして患者の症状に応じた診療科の案内や相談、若手職員の育成などさまざまな部門で活躍しており、今後も安心で安全な医療の提供に努めていく。

研修に取り組む新人看護師  
業委託等の考え方を伺う。  
市民活動支援センターに市民協働に関するコーディネーターの配置を要望する。

**市民協働について**

粥川 加奈子



**質問** 市ではまちづくり市民活動育成支援条例に基づき、地域や社会に貢献する活動を行う市民活動団体への助成事業や、行政課題の解決や魅力発信につながるアイデアを募集して企画運営を市民活動団体に委託する市民提案事業を実施している。翌年度以降の事業

委託等については、事業の実施状況、成果、市施策との整合性等を総合的に勘案しながら関係部署において適切に判断している。

市民協働の推進については、さまざまな形で取り組んでおり、昨年度の協働事業数は2038事業に達した。平成25年度から職員を対象に市民協働研修会を開催して人材の育成に努めている。協働コーディネーターは、市民活動推進課がその役割を担つており、市民活動支援センターへ配置の予定はない。今後も市民活動の支援を行うとともに、市民活動団体との協働により、魅力と活力あるまちづくりに努めていく。

**大垣市における人事戦略について**

小原 一喜



**質問** 地方自治体の人手不足が問題となる中で、安定支援は重要であり、本市の行政サービスを維持するため、本市の人事戦略について伺う。

**答弁** 民間企業の給与、勤務環境の改善に伴う公務員志望者の減少や就職活動の早期化により、市職員の受験者数は減少している。土木、建築、保育士等の試験については、新たに4月実施の早期枠を設けるなど、人材確保に向けた取り組みを進めている。

過去の採用抑制により年齢構成に偏りが生じたため、社会人採用枠を設け年齢構成の平準化に取り組んだことで、現在は極端な偏りはない。また、技術職員確保のため、通年採用の実施や受験年齢上限を49歳へ引き上げ、受験機会を拡大した結果、着実に職員を確保している。技術職員の育成については、資格取得に対する補助支援や、中部地方整備局や被災自治体への長期派遣等を積極的に実施し、費用の補助については、他の養育費手続支援事業を開始した。養育費保証契約の実施状況や効果を踏まえ研究していく。

**ひとり親家庭の支援について**

中田 としや



**質問** 物価高騰の影響を強く受けるひとり親家庭への支援策を伺う。養育費の請求手続きの支援を求める。

**答弁** ひとり親家庭は家事・育児の負担とフルタイムでの就労が困難であり、近年の物価高騰による経済的不安が生じ、社会的支援の必要性が高まっている。児童扶養手当の受給世帯は18歳未満の人口減に伴い減少傾向で推移しているが、母子家庭等医療費助成、保育料の減免、給食費や学用品費等の一部援助などの経済支援や、職業訓練の補助制度による自立支援にも取り組んでいる。また、今年度より大学等の受験料の補助の実施とともに、学習支援や進路等の相談窓口設置に向けた準備を進めている。

過去の採用抑制により年齢構成に偏りが生じたため、社会人採用枠を設け年齢構成の平準化に取り組んだことで、現在は極端な偏りはない。また、技術職員確保のため、通年採用の実施や受験年齢上限を49歳へ引き上げ、受験機会を拡大した結果、着実に職員を確保している。技術職員の育成については、資格取得に対する補助支援や、中部地方整備局や被災自治体への長期派遣等を積極的に実施し、費用の補助については、他の養育費手続支援事業を開始した。養育費保証契約の実施状況や効果を踏まえ研究していく。

**質問** 日常的に歩きやすい道路の整備と危険箇所の安全対策、大垣公園と北公園の再整備にあたりウォーキングコース設置を要望する。

**答弁** 市では「水都大垣再生プロジェクト」において3D都市モデルを活用して都市計画区域を整備し、中心市街地の人流量データを反映した3D歩行空間を確保し、路側帯の設置やカラーブラッピング等により安全な歩行空間を確保し、防護柵の設置や車両の速度抑制を目的とした路面標示などを歩行者の安全対策に取り組んでいる。再整備予定の大垣公園や北公園には、ウォーキングやジョギング等、市民が気軽に楽しく健康づくりに取り組めるよう、ユニークなデザインに配慮した園路等の整備を行う。

日常的に歩きたくなる環境づくりは、健康寿命の延伸と地域への愛着が醸成され、健康増進はもとより歩くことで市内の魅力的な観や名所を再発見できるため、外出機会の創出につなげていきたい。

**「選ばれるまち大垣」実現のための3D都市モデルの活用について**

からさわ 理恵



**質問** 昨年度、国の補助金を活用して都市計画区域を整備し、中心市街地の人流量データを反映した3D歩行空間を確保し、路側帯の設置やカラーブラッピング等により安全な歩行空間を確保し、防護柵の設置や車両の速度抑制を目的とした路面標示などを歩行者の安全対策に取り組んでいる。再整備予定の大垣公園や北公園には、ウォーキングやジョギング等、市民が気軽に楽しく健

**答弁** 昨年度、国の補助金を活用して都市計画区域を整備し、中心市街地の人流量データを反映した3D歩行空間を確保し、路側帯の設置やカラーブラッピング等により安全な歩行空間を確保し、防護柵の設置や車両の速度抑制を目的とした路面標示などを歩行者の安全対策に取り組んでいる。再整備予定の大垣公園や北公園には、ウォーキングやジョギング等、市民が気軽に楽しく健

康づくりに取り組めるよう、ユニークなデザインに配慮した園路等の整備を行う。

日常的に歩きたくなる環境づくりは、健康寿命の延伸と地域への愛着が醸成され、健康増進はもとより歩くことで市内の魅力的な観や名所を再発見できるため、外出機会の創出につなげていきたい。

**ウォーキングを続けるために**

- 1 準備運動 ウオーミングアップ
- 2 水分補給 こまめに取る
- 3 正しいフォームで かかとから着地
- 4 整理体操 クールダウン



**ウォーカブルなまちを実現するまちづくり**

からさわ 理恵



今後も安定した行政サービス提供のため、職員の確保に努めるとともに技術職員の育成に注力していく。

地域活性化起業人制度を活用し、民間デジタル専門人材の協力により府内全体での活用能力の向上を図るために研修会を開催する。

今後も市民参加型ワーク

として、ビジネス利用を推進するため企業向け勉強会を開催し、民間企業での活用促進に取り組んできた。

**質問** ワークショップや大学との連携など、施策を進める支援ツールとして適切に活用していく。

今後も市民活動の支援を行うとともに、市民活動団体との協働によ

り、魅力と活力あるまちづ

くりに努めていく。

※プラチナナース…定年退職前後の就業している看護職員。

**意見書** 第2回定例会で可決された意見書は次のとおりです。  
意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

### 米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書

昨年来、スーパー等での米の販売価格は昨年の2倍以上に達するなど、現下の精米販売価格は異常な値動きを見せており、家計を圧迫している。

この米の価格上昇の主な要因は、2023年の猛暑により、米の収穫量が減少し、供給量が減ったことや、コロナ禍で一時的に低迷していた外食需要が回復し、それに加えて訪日外国人観光客の増加により、米の需要が急増したこと、さらには、米の供給量が減少し、需要が増加したことで、集荷業者間の買い付け競争が激化したことなど複合的な要素が影響したと言われている。

そのような状況の中、政府は、本年2月、米価高騰の抑制や流通の目詰まりを解消するため備蓄米の活用を決定。3月から4月には3回に分けて計31万tの入札を実施するとともに、2025年産が出回る前の7月まで、備蓄米を毎月放出するとし、さらに5月には、随意契約による備蓄米の売渡しを開始している。

政府におかれでは、さらなる生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格の抑制に努めるとともに、米の安定供給に向けた抜本的な対策を講じるよう強く要望する。

1. 備蓄米の活用や流通の円滑化等を推進することにより、生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格の抑制に努めること。

2. 今後の、米の生産・販売の推進に向けた見直しについては、各産地が全国の需要に応じた生産量を確保できるよう、取組計画書や営農計画書等の機動的な変更を可能とするとともに、産地との密な意見交換やきめ細やかな情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月17日

大垣市議会

### 議会だより編集委員会

年4回発行する議会だよりに、市民の皆さんからのご意見やご要望をいただきながら、より良い紙面づくりに努めてまいります。

委員長 関谷 和彦

副委員長 からさわ理恵

委員 宮脇 ちえ

委員 安藤よしひろ

委員 種田 昌克

委員 はんざわ多美

委員 不破 光司

議員 としや

議員 英明 和彦

議員 哲二

議員 まさと

議員 議員

議員